

道しるべ

第60号

令和6年12月



一般社団法人 石川県舗装業協会



写真：加賀海浜産業道路〔白山市小川町～松本町間 4車線化〕
(写真提供：石川土木総合事務所、編集委員会)

目 次

地震・豪雨災害からの復旧・復興と 安全・安心・快適な道路交通確保に向けて 国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所 所長 五十川 泰 史	1
変わったこと、変わらないこと 島屋建設(株) 代表取締役社長 島 洋 之	2
令和6年度 石川県土木部との意見交換会 技術委員 村 田 登 〈協和道路(株)〉	3
60周年記念社員旅行 石川舗道(株) 企画部長 穴 山 信 雄	6
いくつもの偶然が重なり 加州建設(株) 代表取締役社長 塩 谷 浩 志	7
ゴルフって不思議 大同開発(株) 総務部 谷 崎 憲 博	8
努力と感謝：日本での人生と家族の絆 (元気くん) 協和道路(株) 工事部工事課 TRAN CONG DAT (チャン コン ダット)	9
思えばここまで来たもんだ (二人三脚) 「ふりかえれば30年」 加州建設(株) 執行役員工事本部長 坂 口 雅 嘉	10
2024年度日本アスファルト合材協会 「全国技術委員長会議」報告 石川県アスファルト合材協会 品質管理技術委員長 向 田 満	11
事務局アラカルト	13
令和6年度 石川県 国土と交通等に関する知事表彰	16



環境にやさしい道路づくり

石川舗道株式会社
加州建設株式会社
株式会社金沢舗道
北川ヒューテック株式会社
協和道路株式会社
沢田工業株式会社
三友工業株式会社
島屋建設株式会社
盛進工業株式会社
太陽工業株式会社
辰村道路株式会社
林舗道株式会社
丸建道路株式会社
吉田道路株式会社

地震・豪雨災害からの復旧・復興と 安全・安心・快適な道路交通確保に向けて



国土交通省 北陸地方整備局
金沢河川国道事務所 所長
五十川 泰 史

石川県舗装業協会の皆様には、平素より国土交通行政、とりわけ道路行政の推進にご理解・ご協力賜り、厚く御礼申し上げます。

令和6年は、元日の能登半島地震、9月20日からの豪雨災害と、石川県は能登地域を中心に1年足らずの間に未曾有の災害に2度見舞われました。お亡くなりになられた方のご冥福をお祈り致しますとともに、被害に遭われた方にお見舞いを申し上げます。

発災後の啓開・応急復旧にあたっては、貴協会の皆様に、中には自らも被災されながらも大変なご尽力を賜り、誠にありがとうございました。救出・救援活動やインフラの復旧活動を進めるためには道路を通行可能とすることがその第一歩となり、被災地域の要望・期待も非常に大きくなか、石川県や自衛隊などとも連携し進めたところです。

そのような中で強く必要性が認識されたのが、インフラの災害に対する強靱化ではないかと思えます。その中の道路ネットワークについては、のと里山海道や能登半島外浦の国道249号などが大きく被災し直轄権限代行により復旧※を進めています。そのうちのと里山海道では、対面通行を再開したものの、急カーブ・急勾配が残る応急対応で、本格的な復旧はまだこれからの状況となっており、冬期を迎えるにあたり、急カーブ・急勾配を改善する工事を実施するとともに、国により除雪作業を行うこととしたところです。

※能登復興事務所と分担して実施

このほかにも、能登地域から金沢市内に至るまで、舗装面が損傷する被害が大小合わせて多数発生しており、これらの対策も、貴協会のご尽力により進めているところです。

加えて、冬期の除雪作業も、貴協会会員企業のご尽力により進めることができます。今冬は降雪量が平年より多いとの予想となっており、前述ののと里山海道の除雪も加わり、困難な状況になることも想定されます。当事務所としても、関係機関と情報共有・連携を図り適時的確な対応に努めてまいりますので、ご協力賜りますよう、お願い致します。

さらには、無電柱化（電線共同溝の整備）の推進にも皆様のご協力が必要です。

改めて申し上げますまでもなく、舗装は、安全・安心・快適な道路交通確保のために必要不可欠であり、その品質は高いものが求められます。貴協会におかれましては、不断の技術研鑽により、寄せられる期待に応える努力を継続して頂ければと思います。また、少子化・人口減少などを背景としたICTの導入、新技術の開発などによる生産性向上にも積極的な取組をお願い致します。私ども発注者としても、適正な価格・工期での発注や働き方改革の取組などとともに取り組んでまいります。

結びに、貴協会と会員、並びに従業員・ご家族の皆様の益々のご発展、ご健勝を祈念いたしております。

引き続きのご理解・ご協力よろしくお願い致します。

変わったこと、変わらないこと



島屋建設株式会社

代表取締役社長 島 洋之

今年元日に発生した能登半島地震、そして9月に発生した能登豪雨災害で被災された方々には謹んでお見舞い申し上げます。

私の執筆は、8年半前（社長就任時）以来の2回目です。あの時から多くの変化がありました。

まずは、2019年末から世界中をパニックに陥れた新型コロナウイルスです。今まで当たり前のように会社に出社して仕事をするという習慣が当たり前ではなくなりました。デジタル後進国であった日本でも、これを機にweb会議の導入が広く普及しました（弊社社内会議では、数回しか使いませんでした）。多くの方が亡くなられてしまい、終わりの見えない時期もありましたが、遠方の人と気軽に会議できるようになったキッカケでもありました。

次に、ロシアによるウクライナ軍事侵攻とパレスチナのイスラエル奇襲への過剰な報復合戦。アメリカ同時多発テロをテレビで見てはいましたが、強者が弱者をいじめるような戦争が21世紀になってまで見るとは思いもせませんでした。未だに終わりが見えずにモヤモヤした気持ちで過ごしています。

また、国家規模を超えるような、地震や豪雨、火山噴火などの災害が多発しています。豪雨は地球温暖化が原因の1つとも言われています。そんな災害が今年だけで2つも石川

県で起こってしまいました。東日本大震災で震度5強を経験している私も、今回は恐怖を覚えました。地震翌日から、家などが被害に遭いながら、応急復旧活動に携わってくれた社員には感謝しかありません。今も豪雨災害の応急復旧にあたってくださっている方々にも感謝申し上げます。

プライベートの話をする、この8年半の間に子供が生まれ、小学2年生になりました。育児も思っていた通りにいかないことも多々あり、試行錯誤の日々です。戦争や環境汚染など嫌な気持ちになるようなニュースを見るたびに、「地球は、孫（世代）からの借り物」、次の世代に少しでも迷惑をかけないようにしないと、という気持ちになります。

そして、本社社屋も約2年前に建て替えて新しくなりました。建設会社っぽくないデザインで、太陽光パネルを屋根に設置し、若い人に少しは気に入ってもらえるような建物になったかなと思っています。ですが、地域を守るという使命は変わりません。起こってほしくは無いですが、災害の時により存在感を発揮し、身近に感じてもらえる業界です。その“当たり前”を守るという意味もある「“当たりまえ”があり続ける未来へ」という経営理念を元に、業界を盛り上げていけたらと思っています。

令和6年度 石川県土木部との意見交換会

令和6年10月29日（火）、石川県地場産業振興センター新館研修室において。石川県土木部と石川県舗装業協会との「意見交換会」が今年も開催されました。

石川県土木部からは、小寺基 道路整備課長、任田喜一郎 監理課技術管理室担当課長、新田弘毅 監理課課長補佐、田中清二 技術管理室課長補佐、斎藤豊 道路整備課課長補佐の5名に出席頂き、当協会からは会員14社の代表者をはじめ34名が参加しました。



はじめに北川隆明会長から、元日に発生した能登半島地震以降、全14社全力を挙げて応急・復旧の対応に当たっており、どれくらいの事業規模になるのか概数等を示してもらえるとありがたいなどと挨拶。続いて小寺課長から、能登半島地震や奥能登豪雨の復旧対応への感謝のほか、災害査定の進捗状況及び復興後は震災前より良い形が残せるようにしたいと挨拶がありました。



北川会長



小寺道路整備課長

今年の意見交換会では、始めに、県通知に対する事前質問について県から回答説明をいただき、その後に例年の通り、10項目の課題について活発な意見交換が行われました。主な内容は次の通りです。

1. 急速施工時における中間検査

発注段階で中間検査の対象であっても、市街地での夜間工事等で急速施工が必要となった時は、現場状況に応じて協議により段階確認に変更できるようお願いします。また、「急

速施工」の定義を確認したい。

(回答)

路盤工完成後の中間検査について、急速施工（舗装版とりこわしから舗装までを1日で完了する施工）をする場合は除くとなっております。急速施工を行う必要が生じた場合は、段階検査で対応するなど監督員と協議願いたい。

2. 余裕を持った工期設定と工事平準化

工期設定にあたっては、通常年に比べて、できるだけ余裕を持った工期設定して、発注していただきたい。また、資材・人員の確保を確実に実施できるよう、施工時期の平準化のため、余裕期間制度（フレックス方式）を更に活用していただきますようお願いします。

(回答)

工種・規模や、現場条件及び過去実績等を考慮して、適切な工期設定に努めている。

今回の震災や豪雨を受け、災害対応による影響を鑑み、契約中の工事において支障の無い範囲で工期の延長を行うなど、受注者と協議のうえ柔軟に対応するよう、事務所に通知も行っている。施工時期の平準化については、余裕期間制度を引き続き積極的に活用するほか、10月から、余裕期間制度と同様な技術者の取扱をする「概略発注制度」の試行を始めたところである。

3. 夜間工事について

夜間工事は、昼間に比べ作業効率も低下し、労働者の疲労も蓄積します。又、今年度から働き方改革による時間外労働時間の規制強化も伴って、夜間工事は受注が厳しい現状です。昼間施工が可能となる工事範囲の設定や施工方法の工夫などにより、夜間工事は最小限にさせていただくようお願いします。

(回答)

県では、昼間施工を基本とし工事発注を行っているが、市街地など日中の交通量が多く、著しい交通渋滞など多大な社会的影響のある場合には、必要に応じ警察と協議を行い夜間施工としているところである。なお、適切な迂回路の確保などの工夫により社会的影響の

低減が図られる場合には、工事受注後であっても夜間から昼間施工へ切り替えることも可能であることから、適宜、監督員と協議いただきたい。

4. 主任技術者の兼務要件の緩和

災害復旧工事を含む場合は3件まで兼務可能となっていますが、合冊入札の場合はそれぞれ別契約となります。県政史上未曾有の能登半島地震に対応するため、多くの工事が発注され技術者が不足しており、主任技術者についても、現場代理人と同様な緩和措置をお願い致します。

(回答)

県では、本年4月1日以降に発注する入札において、技術者の配置要件緩和の取り組みを実施している。具体的には、中能登土木管内以北の災害復旧工事において、工事現場に専任を要する主任技術者の兼務件数を従来の原則2件から3件まで可能として技術者の配置要件を緩和することにより施工体制の確保を図っている。建設業法上、技術者の配置は工事の適正な施工を確保するため必要とされ、国のガイドライン(監理技術者制度運用マニュアル)では、兼務可能な件数は原則2件程度とされており、更なる件数の拡大は困難なことをご理解願いたい。

5. 産業廃棄物 (As 廃材) における処理施設先の確保

災害復旧工事で多量に発生するAs廃材処理に対して、能登地区での対応は困難なため加賀・金沢方面への搬出が必要であり、その経費について仮置きも含めて適切な設計計上をお願いします。また、廃材処理の課題解決に向けて、県当局のご理解・ご協力、関係当局への緩和措置の働きかけ等のご支援をお願いします。

(回答)

当初設計では、受け入れ可能性を確認のうえ、工事現場からAs廃材処理施設までの運搬費と処分費の合計額を経済比較して処分先を決定しており、発注後、受け入れができなくなる等、条件に変更が生じた場合には、再度、別の受け入れ可能施設を確認の上、必要な経費を変更設計で計上している。引き続き、適

切な対応を図るよう事務所に指導を行ってまいります。また、廃材処理の課題等については、今後も情報共有を図りながら課題解決に向けて取り組んでまいります。

6. 舗装修繕工事における縦横断図の作成費用

土木工事設計変更ガイドライン(案)[R2.10]では、舗装修繕工事における縦横断図作成に掛かる費用は、発注者の責任または発注者の費用負担にて受注者が行うこととなっている。

現時点では、当初の設計図書にて縦横断図が、示されて発注されている場合もあれば、示されていない場合もある。また、図面作成費用の取り扱いについても工事毎にバラバラな状況である。

(回答)

発注時には、できる限り設計図書に縦横断図を添付することとしているが、やむを得ず縦横断図が添付できない場合で、縦横断設計が必要となる場合には、監督員と協議の上、その費用を共通仮設費の技術管理費で積上げ計上することとしている。なお、施工前の調査、測量、丁張等に要する準備費は共通仮設費の率に含まれることから、積み上げ計上の対象とならない。その他、設計変更が不可能なケースとして、発注者と「協議」を行わない等の場合は原則として設計変更できない。これらのことについて、適切に取り扱うよう、改めて各土木事務所に周知したい。

7. 総合評価方式「評価簡易型」

舗装工事での総合評価方式「評価簡易型」の適用基準や適用予定のほか、舗装工事全般におけるロット・規模感など、現在開示できることがあればご教示願いたい。また、今後とも発注見通し等の最新情報を速やかに提供願います。

(回答)

舗装の復旧時期については、上下水道管などの地下埋設管と施工時期の調整が必要となることから、随時、関係機関と調整を行っている。今後とも、四半期ごとに公表する発注見通しなどを活用しながら、可能な限り早期の情報提供に努めてまいります。

8. GPS 除雪業務

今年度から全除雪車にGPSを搭載すると聞

いていますが、詳細についてご教示願います。また、GPSの導入で業務が増えるようなことの無いようにお願いしたい。

(回答)

今冬より運用開始する「GPSを活用した除雪管理システム」は、貸与・借上の全除雪車約400台にGPS端末を設置します。除雪車の位置情報や、除雪作業の開始・終了時刻の自動取得により、除雪延長や作業時間の記録作成の業務を自動化することで、除雪作業員の事務負担軽減を図るもとともに、道路の除雪状況を県HPで一般公開することで、県民サービスの向上につなげるものである。

今後、運用する中で判明した不具合などは、随時修正することで、より利便性の高いシステムを目指して行きたいと考えているため、引き続きご協力願います。

9. 中温化(フォームド)アスファルトの適用について

近年、環境対策や舗装現場での施工性から中温化(フォームド)アスファルトが注目され、その技術指針の策定及び実用化が東京都などで図られています。当アスファルトは、通常よりも低い温度でAs混合物を製造・施工できるため、CO₂削減や真夏施工及び広域運搬にも有効です。その実用化に向けて取り組んでほしいと考えるが、県の所見を伺いたい。

(回答)

今年度は、中能登土木総合事務所の発注工事において、受注者との協議により、中温化舗装の施工を行っているところであり、今後とも、国や他県の取り組みを参考にしながら、適地において中温化舗装を活用してまいりたい。

10. 真夏時期での現場施工

真夏日(30℃以上)での舗装作業は大変過酷であり、作業効率が大きく低下しますが、設計積算の歩掛り等は通常時期と特に変わりません。作業効率低下を考慮した積算対応していただくよう切望します。また、国・他県の意見や動向等についてご教示願います。

(回答)

石川県では、国土交通省の積算基準に準拠しています。昨年度も同様の質問があり、意見がある旨を国に伝えたが、国からは良い返

事がありません。引き続き、業界の皆様方から意見があった旨を、国に伝えてまいりたい。

○その他の意見交換等

産業廃棄物処理施設先の確保について、今後は廃材処理が大きな問題になるとした上で、能登地区での保管量の増大や仮置き場等の検討を要望した。

災害対応の工事規模感について、一般土木を含め地震で約3,000億円、豪雨で500億円強を想定しており、その2～3割は舗装工事と想定していると説明があった。

また、被災地の珠洲市に本社を構える林舗道株式会社 明星加守暢代表取締役から、被災地での現状報告を詳しく説明して頂きました。



林舗道株式会社 明星代表取締役

意見交換後には、任田技術管理室担当課長より、奥能登震災関連での協会の対応に対してのお礼の言葉を頂き、昨今の建設業界において、若手入職者の確保が大きな課題となっている。また、4月からは時間外労働の上限規制に伴った働き方改革や生産性向上が求められている。県としては地震対応と共に週休二日制、余裕期間制度、ICT施工、遠隔臨場等を推進していると挨拶。淵田昭彦 舗装業協会副会長からは、震災後の労働力不足が要因となった労務単価の高騰や、CO₂削減問題に取り組むためにも県と協力していくことを約束し、閉会の挨拶となりました。



任田技術管理室担当課長



淵田副会長

今回の意見交換会は今後の舗装業界・協会活動に有意義で終えたことを報告します。

(技術委員 村田 登〈協和道路(株)〉)

60周年記念社員旅行



石川舗道株式会社
企画部長
穴山 信雄

「道しるべ」の原稿依頼を受け、今回が60号であるとのこと、会社が創立60周年で今年の研修旅行がまさに「60周年記念」であることを思い出し、テーマとして決めました。

私は石川県土木部に42年間勤め9年前定年退職し、その後他の業界の職場を経て1年半前に、縁あって石川舗道に入社することになり、初めての社員旅行となりました。

目的地は福岡・長崎で県に勤めていたころには、仕事でしか訪れたことがなく、それこそ高校の修学旅行以来の観光でした。また、会社に入り社員さんとの親睦を深められると思ひ、楽しみでした。

小松空港に集合し、研修旅行のスタートです。福岡空港からは全工程がバスでの移動で、特にガイドさんは、観光地での案内や車窓からの説明、時には歌い等で雰囲気盛り上げ上手なガイドさんでした。



初日は午後から世界遺産で古代より道の神様として信仰されている「宗像大社」を参詣して、夕食時に60周年記念で、サプライズの大きなケーキが出て、社長がろうそくを吹き消し皆で分けて食べ、抽選会も行われ、豪華賞品が多くの方が当たり、懇親会は大い



に盛り上がりました。

2日目は長崎ハウステンボスを自由行動で各々楽しみ、その後長崎市内の世界遺産「大浦天主堂」から「グラバー園」を散策しました。数十年前の高校の修学旅行にも、来たことがあります。その後世界遺産になり、説明を聞きながら歩いて回って、月日の流れを感じ感慨深かったです。グラバー園から長崎港が一望でき、大型クルーズ船が入港していて、長崎も金沢と同様にクルーズ船の乗客が街の賑わいの一因かなと思いました。



3日目は楽しみにしていた世界遺産「通称軍艦島」端島への上陸クルーズです。まず、デジタルミュージアムにて、当時の島民の暮らしの展示等を見てから、いよいよ船で出発です。上陸できるかは、その日の波の状況等であるとのことでしたが、波静かで幸いなことに上陸することができ、当時のことが写真等で説明され、驚くことばかりでした。現在軍艦島が舞台のドラマ「海に眠るダイヤモンド」が放映されていて、リアルに感じながら視聴しています。



今回の社員旅行は、忘れられない旅行となりました。投稿により楽しい気持ちを新たに出来ました。機会を頂き、ありがとうございました。

いくつもの偶然が重なり



加州建設株式会社

代表取締役社長 塩谷浩志

〈先ずは、ご報告から〉

今回は、10月31日に開催された舗装業協会の秋のゴルフコンペで、いくつもの偶然から起こった出来事について報告したいと思います。

当日の天気は晩秋にもかかわらず気温が23度を越え、日差しの下では半袖でも汗ばむような陽気のなかでのプレーとなりました。スタート直前に、同組のメンバー1人が都合により欠席となり、3人でのラウンドになることを知らされました。もともとせっかちで、プレーが早く雑になりがちなタイプなので、3人になったことで落ち着いてプレーができるように作用したのではと後に気づくこととなります。そして、ここからいくつもの偶然(予期せぬ出来事)が始まることとなります。

絶好のゴルフ日和のもと、いよいよスタートです。スタートホールでは、メンバーの1人が「ナイスショット」からの「ナイスオン」、そして「ナイスバーディー」を決め、この「おはようバーディー」によりこの組の雰囲気どんどん盛り上がり、順調なスタートを切ることができました。次のホールでは、わたしの3打目のアプローチが砲台グリーンの見えないカップに吸い込まれ、バーディーとなる予期せぬ出来事が起こりました。アプローチが苦手なわたしにとっては、あれっ？今日は何かが違うと思える瞬間でした。これもスタートホールの空気感とこの組の雰囲気引張られて起きた偶然だと感じました。

その後も、ガードバンカーから1打で脱出できるという偶然が3度(これで10打以上は変わります。ちなみに出ただけです。)起こ

り、自分でもビックリするラウンドとなりました。自分の実力以上のゴルフを引き出してもらえたメンバーのお二人には感謝しかありません。本当にありがとうございました。

この原稿を書いている今、清々しい天気のもと良きメンバーと楽しくラウンドできたことを思い浮かべながら、いくつもの偶然(ハンデキャップは?)が重なり、優勝に繋がったことをしみじみと実感しています。



〈ハンデキャップは?への答え〉

10数年前にアプローチをたった一度、失敗したことから、今もその苦手意識から抜け出せずにいます。特に今年に入りガードバンカーから何度打っても脱出できずギブアップ(トリプルパー)することが数知れずあり、スコアは110を切るものが精一杯です。この数年は、スコアを気にせずにストレスなくゴルフを楽しめるように心掛けています。(言い訳です。キラキラと眩しい太陽の日差しを浴び、キンキンに冷えたスポーツドリンクを飲みながらのゴルフは最高です。)

最後に本題に移りますが、今回のハンデキャップが適正で必然であることは、ご理解いただけたと思います。しかしながら、みなさんの参加費が無駄になったことを心よりお詫び申し上げますと共に、今後も暖かく見守って頂けると幸いです。

ゴルフって不思議



大同開発株式会社

総務部 谷崎 憲博

前職で仕事の都合上、仕方なくゴルフを始めなければならなくなってやがて10年近く経つでしょうか。桃栗3年柿8年と言いますが一向に上達しない私のゴルフの果実が実るには、何年かかるのか……。そんな私を悩ませるゴルフには理解しがたい不思議がいっぱいあるように思います。

不思議その1：私のようなレベルのゴルファーであってもまずは目標とするのがスコア100切り。しかしこの100という数字がどうにも不可解なのです。パープレイで72、ボギーペースで90、ダボペースで108という競技であり100という区切りはどこにもありません。それにも関わらずなぜか100という数字に固執し、その100を切ることを目指します。かくいう私もまれに前半50を切るような時には、お昼のビールはノンアルへ変更、勇んで後半へと臨むのですが、緊張から途端に体は硬直しミスショットを連発、特段の意味を持たないはずの100という数字の壁はいつもそんな私をあざ笑うかのように私の前に立ちはだかります。

不思議その2：昨今はネット上にゴルフに関する情報があふれかえっています。有能なAIがおせっかいにも私の視聴動向を分析し、私の元にこれでもかとばかりにゴルフ関連動画を送りつけてきます。しかしその内容は「ボールをよく見る・見ない」「腰を回す・回

さない」等といったように真逆のアドバイスがされていることが往々にしてあり、私のような芯のないゴルファーを惑わせるのです。

不思議その3：「努力は裏切らない」といわれ、練習場に足しげく通った時期もありましたが10年の時を経ても一向に上達の気配はありません。その言葉は本当なのでしょう。むしろ今のところ「報われない努力もある」ということを立証している状況です。

不思議その4：しかしながら青空の下、緑に囲まれながらのラウンドは爽快で楽しく、結果が良ければこの調子で、悪ければ今度こそはと、知らず知らずに次回ラウンドへの思いを馳せているのです。この得も言われぬ魅力がゴルフ最大の不思議です。

今後も末永く楽しくプレイが出来るよう動画による座学ばかりでなく、練習場での練習にも取り組み、コンスタントに100の壁をクリアして「努力は裏切らない」ことを立証できればと思います。





努力と感謝：日本での人生と家族の絆



協和道路株式会社

工事部工事課

TRAN CONG DAT

(チャン コン ダット) [ベトナム出身]

5年前、初めて日本に降り立った日、心の中にはさまざまな感情が入り混じっていました。発展した国で働くという夢を叶えた喜びがありましたが、同時に、生まれ育った場所を離れる寂しさも感じました。また、当時は日本語があまり上手ではなかったため、仕事をうまくこなせるかどうかの不安もありました。見知らぬ街並み、まったく新しい文化に囲まれ、わくわくしつつも戸惑いがありました。

日本で学び、働くうちに、ここには学ぶべきことがたくさんあると気づきました。異国の地で出会った親切な人々のおかげで、少しずつ安心し、心強く感じるようになりました。だんだんこちらの生活リズムや空気感、働き方、そして日本の生活習慣にも慣れていき、日本がいつの間にか「第二の故郷」となりました。

昨年5月17日、私は正式に協和道路株式会社での勤務を開始しました。以前と同じ建設業ですが、以前の会社とは分野が異なるため、最初は仕事についていけるか少し不安でした。しかし、幸運にも、新しい同僚たちはみんな親切で、サポートと励ましのおかげで、すぐに新しい職場に馴染むことができました。

努力を重ね、皆さんの助けもあって、このたび二級舗装施工管理技士試験に合格しました。これは私のキャリアにおいて重要な節目



であり、今までの努力が報われた瞬間です。

さらに喜びが増したのは、約5ヶ月のビザ申請の末に、妻と息子のビザも無事に許可されたことです。11月18日には、2人と一緒に日本で暮らせるようになりました。毎日、家族と話したり遊んだりできると考えるだけで、これまでの疲れや長い間の距離感がすべて消えていくように感じます。この2年間、家族のために果たせなかった夫や父親としての役割を取り戻せるでしょう。





二人三脚

思えばここまで来たもんだ

真珠婚式



「ふりかえれば30年」

加州建設株式会社

執行役員工事本部長 坂口 雅 嘉

平成6年5月に二人で歩き始めた道がここまで続いていることを、しみじみと感じています。付き合い始めて5年、いろいろなしがらみや高いハードルを乗り越え、30年前にマリアージュ玉姫殿にて挙式を上げました。

結婚してからはいろいろな所に単身赴任をしました。その間、妻には育児や多くの行事を任せきりで業務に邁進したように思います・・(◇)ゞ。単身で7年、通勤による遠地で7年、いま思えばよく我慢し、続けてくれたなあと感じています。

家族が増え共に喜びを分かち合った日もあれば、別れの悲しみを共有する日もありました。そのすべてが今の私たち夫婦の形を作る大切な瞬間でした。これからの未来も、今までと同じように二人三脚で進んでいくつもりです。新しい夢や目標を見つけさらなる幸せを共に築いていくことを楽しみにしています。周りで支えてくれた家族、友人、そして会社への感謝の気持ちを忘れずにこれからも歩んでいきたいと思えます。



話は変わりますが執筆にあたり10年前に私が寄稿させていただいた道しるべ39号を読み直してみました。「いろんなことに挑戦」という原稿を書いていたので、そこに書かれ

ていた10年前に立てた私の挑戦を今現在検証してみました。

- 1.(富士山)登山:これは体を悪くして今年も休憩中。まだまだ頑張るつもりです
- 2.ツーリング:北海道、九州、四国と走破しました。バイクは6台目になりました。
- 3.ゴルフ100切り:なんとか人並みにできるようになりました。
- 4.農業:昨年度より本格的に参入しましたが、水害でダメになりました。
- 5.マラソン:金沢城リレーマラソン1周が目いっぱいでしょうか。



娘との北海道ツーリング



輪島にて去年の稲刈り

こうしてみると私の挑戦もこの10年で、ずいぶんと達成できたような気がします。これもひとえにいろいろなことを好き勝手にやらせてくれる、理解のある妻のおかげと深く感謝しています。

今は子供たちも立派に巣立ち(?)夫婦二人だけの生活になりました。

最後に思い出いっぱいの30年をふりかえり、妻にひとこと

「30年間本当にありがとう。そして、これから先の人生もなにとぞよろしくお願ひします」

2024年度

日本アスファルト合材協会「全国技術委員長会議」報告



石川県アスファルト合材協会

品質管理技術委員長 向田 満

令和6年10月18日(金)に(一社)日本アスファルト合材協会の2024年度「第1回技術委員会」「全国技術委員長会議」が、団体会員30名、日合協技術委員24名、日合協技術部会員9名など計66名が出席し、東京都内で開催されました。小職が団体会員の石川代表として出席しましたので次第の流れに沿って概要を報告します。

1. 挨拶

今年度から日合協技術委員長に就任された守安弘周氏より、



挨拶する守安技術委員長

まず能登半島地震並びに能登で発生した豪雨で被災した方々へのお見舞いの言葉がありました。

次に、アスファルト製造産業における厳しい現状に触れながら、災害の復旧や社会インフラの老朽化対応など国民生活を支える公共性の高い産業であるため、公共事業の安定的な確保が重要と訴えられました。

最後に、技術委員会に対して、CO₂削減など新たなニーズに対応した良質なアスファルト混合物安定供給を目指した調査研究また製造技術の開発等への期待を込めたコメントで挨拶を締められました。

2. 日合協第1回技術委員会

審議事項として2025年度の「事業計画(案)」と「予算(案)」の説明があり、案の通り可決されました。なお、来年度の全国技術

委員会は仙台で開催が予定されています。

また報告事項として「40周年記念論文の審査のお願い」と「国土交通省からの要請と日合協の活動状況」について説明がありました。

3. 全国技術委員長会議

(1) 特別講演

(国研) 土木研究所先端材料資源研究センターの材料資源研究グループ長の新田弘之氏より、舗装再生便覧の改訂と土研・日合協の共同研究成果として「アスファルト舗装の持続リサイクルに向けて」という題目で講演がありました。



特別講演の状況

講演の内容は以下のとおりです。

- ・アスファルトコンクリートのリサイクルの現状
- ・持続リサイクルへの対応
- ・改質アスファルト由来再生骨材への対応
- ・科学物質リスクアセスメントへの対応
- ・中温化技術の再生混合物への適用
- ・再生技術の新たな取り組み

引き続き、「再生骨材の重交通路への活用」と「プラント減少に対応する再生技術」の共同研究を進めていくと説明されました。

(2) 2024年度技術委員会活動報告

①「(国研) 土木研究所・東京都・日合協の共同研究について」

「社会構造の変化に対応したアスファルト混合物再生利用技術に関する共同研究」(令和4年4月1日～令和9年3月31日)と題して、技術部会部会員の工藤朗氏より、今年5月に実施した全国のアスファルト合材工場へのアンケート調査の説明、今後の予定として重交通用再生混合物等の配合設計に取り組み、最終的には再生便覧に掲載されることを目的にしたい旨の報告がありました。

②「東京都・日合協・改質アス協との共同研究について」

「中温化剤・中温化アスファルトを活用した中温化混合物の製造・施工に関する調査研究」(令和2年6月16日～継続中)と題して、技術部会部会員の江向俊文氏より、中温化合材の普及の取り組み、中温化技術の事前審査適用の状況、今後の予定として来年3月には機械式フォーム技術を活用した再生中温化混合物の製造・施工に関する調査研究を終了し、報告書を公開するなどの報告がありました。

(3) 各単協からのご意見ご質問に対する質疑応答

各協会等から「カーボンニュートラル」、「中温化混合物」、「再生骨材の旧アス針入度」などに関係する計12の質問等が提出され、事務局から丁寧に回答を頂きました。

当協会からは「中温化(低炭素)舗装における現状と事前審査など、今後の展望について」という質問を提出し、活動報告でも説明があった事前審査制度が認定された自治体や認定取得を目指している自治体などについて改めて説明を頂きました。

4.総括

本日の会議の締めとして、2名の副委員長から総括がありました。

まず、林和夫副委員長からは、環境対策として中温化混合物などでCO₂削減を着実に進めていくことが必要という旨のコメントがありました。

次に、海野正美副委員長からは、再生技術を検討している状況を踏まえ、日合協として如何に高速道路会社へアプローチして理解を得ていくことが必要という旨のコメントがありました。

〈いしかわ我がまちアドプト制度の活動〉



(主)金沢美川小松線・金沢市間明町 2024 夏)



(主)金沢美川小松線・金沢市間明町 2024 秋)

事務局アラカルト

1. 「道の日」クリーン作戦 (R6.8.1)

「道の日 (8月10日)」及び「道路ふれあい月間 (8月)」の行事として、道路環境保全と美化を目的に、三密に留意しながら昨年同様に早朝から、関係機関と合同で道路上の清掃美化作業を行いました。

・金沢地区 (R6.8.1)

50 m道路・金石街道など約7.1 kmを、石川県 (道路整備課、県央土木総合事務所)、道路管理者連絡会及び協力賛同企業などと約160名余で実施

*小松地区 (R6.8.2) は、朝6時時点で暑さ指数 [WBGT] が危険 (5段階の最上位) との前日予想であったため、中止となりました。

なお、輪島地区は、震災対応のため中止でした。



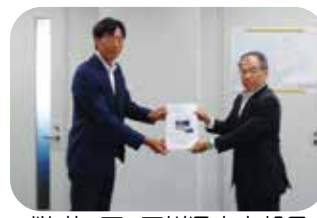
2. 石川県土木部への要望活動 (R6.8.1)

桜井土木部長ら県庁幹部に対して、北川会長をはじめ協会代表者は、道路補修を含む国土強靱化対策の推進などの要望活動を行いました。また、災害復旧工事の全体規模等の最新情報提供もお願いしました。

なお、震災対応で多忙であるため、事務所への要望は中止しました

(要望内容)

- ・国土強靱化対策・長寿命対策の着実な推進
- ・災害対応への取り組み
- ・担い手3法の適切な運用



桜井 亘 石川県土木部長



3. 令和5年度 石川県品質管理実務研修 (アスファルト) (R6.9.3)

県職員と市町職員の7名が、加賀アスコン(株)川北朝日合材工場にて、舗装について学びました。

(研修内容)

- ・アスファルト舗装の施工と管理
- ・アスファルト混合物と製造方法
- ・製造・破碎プラント見学
- ・アスファルト関係試験実習 など



4. 「小松辰口線 地方道改築工事 (軽海～遊泉寺)」の視察 (R6.10.3)

技術委員会と安全委員会は合同で、鋭意整備を進めている小松辰口線 地方道改築工事における梯川橋梁上部工などの現場視察を行いました。

当日は、南加賀土木総合事務所の島田貴幸道路建設課長から管内の事業概要説明を受けた後、上部工施行者であるピーエス・コンストラクション(株)多比良氏から、工事概要や進捗状況等の説明を受けました。

その後、現場に移動して現場視察を行うとともに、周辺道路の舗装を施工している石川

舗道(株)の平田氏から、早期完成を目指して進めていると説明を受けました。



5. 金工大生の現場見学会〈プラント〉 (R6.11.5)

金沢工業大学高橋研究室の3年生10名は、大同開発(株)川北工場を見学し、合材の製造過程などプラント全般について学びました。



6. 品質管理技術委員研修会 (R6.11.22)

アスファルト合材協会の品質管理技術委員は、(一社)日本道路建設業協会北陸支部の水倉一夫企画調査課長から、事前審査での注意点や自主管理要領の変更点及び新たな圧裂試験結果などの最新情報を受講しました。



また、向田委員長が10月に開催された「2024年度全国技術委員長会議」の概要報告した。
(本誌P11,12)

(講義内容)

- ・事前審査申請での注意点、自主管理要領の変更点、新たな圧裂試験結果
- ・全国技術委員長会議報告 など



協会員宅へのボランティア活動

(R6.7.25)



作業を終えて

災害支援に対する当協会への感謝状

(R6.11.8)



北陸地方整備局長から



(一社)石川県舗装業協会

令和6年10月31日(木): 朱鷺の台カントリークラブ (肩丈台)

		G	H	N
優勝	塩谷浩志 (加州)	92	24	68
準優勝	今井 洋 (金舗)	80	5	75
3位	濱名和也 (盛進)	86	11	75

バスグロ賞...今井 洋 80

石川県アスファルト合材協会

令和6年10月22日(火): 小松カントリークラブ

		G	H	N
優勝	谷崎憲博 (大同)	96	28	68
準優勝	丹圃茂樹 (沢田)	100	27	73
3位	今井 洋 (金舗)	80	6	74

バスグロ賞...今井 洋 80

令和6年度 石川県 国土と交通等に関する知事表彰



国土と交通等に関する知事表彰

(令和6年11月7日 授賞式)

◀ 優良建設工事 知事表彰

受賞・・・◆ 沢田工業株式会社

主要地方道 金沢田鶴浜線
地方道改築工事(舗装12工区)

優良建設従業員 知事表彰▶

受賞・・・◆ 嶋崎 哲也
(石川舗道株式会社) 石川県舗装業協会推薦

受賞・・・◆ 村中 亮弘
(太陽工業株式会社) 小松能美建設業協会推薦

受賞・・・◆ 加賀 勝人
(北川ヒューテック株式会社) 金沢建設業協会推薦

受賞・・・◆ 菱田 哲夫
(加州建設株式会社) 金沢建設業協会推薦



土木部優良建設工事表彰

◀ 土木部優良建設工事 部長表彰【ほ装】

(令和6年11月18日 授賞式)

受賞・・・◆ 三友工業株式会社
主要地方道 金沢美川小松線
地方道改築工事(舗装工その10)
白山市上小川町～黒瀬町 地内

受賞・・・◆ 太陽工業株式会社
一般国道305号道路環境改善整備
(幹線軸舗装補修) 工事
(その1)(余裕期間対象工事)
小松市矢崎町 地内



土木部優良建設工事 事務所長表彰【ほ装】

南加賀土木総合事務所長表彰

受賞・・・◆ 石川舗道株式会社：主要地方道 小松山中線 地方道改築(防災安全) 工事
(舗装工) 小松市今江町1丁目～7丁目 地内

奥能登土木総合事務所長表彰

受賞・・・◆ 加州建設株式会社：主要地方道 輪島山田線 地方道改築(防災安全) 工事
(舗装3工区) 輪島市三井町本江 地内

七尾港湾事務所長表彰

受賞・・・◆ 丸建道路株式会社：七尾港 ふ頭用地整備(太田西) 工事
(舗装工その6) 七尾市大田町 地内

優良建設技術者 事務所長表彰

中能登土木総合事務所長表彰

受賞・・・◆ 小林正治(沢田工業株式会社)：主要地方道 金沢田鶴浜線 地方道改築工事(舗装12工区)

アスファルト混合物種類別出荷量調

石川県アスファルト合材協会 (単位:t)

No.	混 合 物 名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	As安定処理 (25,再生骨材30%以下)	6,463	6,542	6,416	2,841	1,278	1,886	2,135	1,767
	(25,再生骨材31%以上)	11,420	9,866	12,085	14,568	12,420	15,310	17,443	18,883
2	粗粒度アスコン (20,再生骨材30%以下)	13,151	10,500	7,212	7,870	4,060	3,745	6,363	5,518
	(20,再生骨材31%以上)	29,258	28,179	29,952	31,828	34,768	29,160	39,026	54,526
3	密粒度アスコン (20,再生骨材30%以下)	0	1,052	33				6	536
	(20,再生骨材31%以上)	0	0	3,141	2,424	2,395	1,494	4,563	1,742
4	密粒度アスコン (20F,再生骨材30%以下)	29,243	24,961	42,439	22,530	13,884	14,976	12,081	13,108
	(20F,再生骨材31%以上)	51,012	39,077	47,482	49,063	49,173	51,981	56,239	45,810
5	密粒度アスコン (20F,改質I型入)	0	0	0				181	
	(20F,改質II型入)	42,400	34,054	32,149	33,180	35,864	32,565	46,785	41,592
6	密粒度アスコン (20FH,再生骨材30%以下)	405	0	1,366	276	814	413	221	1,296
	(20FH,再生骨材31%以上)	970	1,612	520	1,113	2,279	1,419	3,634	1,217
7	密粒度アスコン (20FH,改質材入)	9,490	12,109	15,164	18,921	26,693	20,768	17,846	21,098
8	密粒度アスコン (13,再生骨材30%以下)	4,264	2,922	1,428	892	1,278	1,708	2,640	4,815
	(13,再生骨材31%以上)	24,623	9,377	7,537	4,480	3,462	7,656	7,716	9,890
9	密粒度アスコン (13F,再生骨材30%以下)	20,598	18,410	19,417	18,316	9,510	8,685	9,331	14,045
	(13F,再生骨材31%以上)	41,141	45,004	50,311	42,233	50,230	54,649	44,873	52,409
10	密粒度アスコン (13FH,再生骨材30%以下)	0	0	0					
11	密粒度アスコン (13FH,改質材入)	285	296	198	183	540	83	149	971
12	密粒度アスコン (13F,改質I型入)	0	0	0					
	(13F,改質II型入)	6,716	1,812	1,698	2,914	4,677	2,611	2,739	3,134
13	密粒ギャップ (13F,改質材入)	0	0	0					
14	細粒度アスコン (5F)	5,055	4,365	4,504	3,988	3,768	3,747	3,980	10,598
15	細粒度アスコン (13F,再生骨材30%以下)	1,234	1,057	844	763	714	848	855	1,732
16	開粒度アスコン (13)	6,840	5,923	3,809	9,369	4,069	3,543	5,805	6,946
計		304,568	257,118	287,705	267,752	261,876	257,247	284,611	311,633
認 定 外	細粒度アスコン (20)								
	細粒度アスコン	14,000	13,700	12,566	13,713	9,988	11,215	11,584	14,795
	排水性 (13)	0	0	194	4		186		
	排水性 (10)	0	0	0					
	排水性 (8) その他	0	0	48					
計		136,096	143,933	146,027	159,047	166,995	201,529	179,508	176,786
計		150,096	157,633	158,835	172,764	176,983	212,930	191,092	191,581
合 計		454,664	414,751	446,540	440,516	438,859	470,177	475,703	503,214

(参考) 令和6年9月末 286,228t (R5.9末:230,503t)

編集後記

能登半島地震で明けた一年も、残りわずかとなりました。

震災復興に官民あげて全力で取り組み、被災者の方々も順次仮設住宅に入居され、また完成後入居を心待ちにしているところに、今度は9月の豪雨災害。寝る間も惜しんで復旧した道路が、何処だったのかも分からなくなった地域もありました。

復興の機運が高まる中、水を差す事態となり、心が折れるとはまさにこの事でしょう。被災者に

寄り添い、一日でも早く今までの生活を取り戻せ、また風化させる事の無い様、一丸となっていかなければと改めて認識した次第です。

堅苦しい編集後記となりましたが、協会報も今回が60号の発刊となります。

これからも会員の皆様に紙面を通し、様々な情報を発信していきますので、宜しくお願い致します。

編集委員 池 幡 誠 (辰村道路(株))

道しるべ 令和6年12月 第60号

編集・発行 一般社団法人 石川県舗装業協会

「道しるべ」編集委員会

事務局 一般社団法人 石川県舗装業協会

〒921-8036 金沢市弥生 2-1-23
石川県建設総合センター4F
TEL.076-244-1851 FAX.076-244-1833
E-mail: info@ishihokyo.or.jp



路盤作業



舗設作業



完成式典



転圧作業

「道しるべ」最新2号分は、
(一社)石川県舗装業協会のHPで閲覧できます。
<http://www.ishihokyo.or.jp/>



私たちは100%**リサイクル**に努力しています
アスファルト廃材はお近くの合材プラントへ!



吉田道路(株) 金沢アスコン工場

石川県アスファルト合材協会